

《平成28年度 会計課 組織目標の達成状況》

◆ 目標管理者

会計管理者 田中 義一

1. 現状認識 (重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など)	2. 重点目標	3. 目標達成のための取り組みと成果目標	4. 課題解決に向けた平成28年度の具体的な取組 【年度末実績】
<p>近年、行政経験豊富な職員が大量に退職期を迎えたこと等により、市組織全体の職員の構成が大きく変化してきています。また、実際に会計事務を行う担当者が嘱託・臨時職員に移行している現状が見られます。</p> <p>1 こうした背景から、経験とともに積み重ねられる会計事務の知識の継承が難しく、効率的かつ正確な会計事務の執行に課題が生じています。</p>	<p>① 会計事務にかかるチェック機能の充実を図り、事務執行の実態にあわせた指導に努めることにより、適正な会計事務の確保を図ります。</p>	<p>【取組】 適正で効率的な会計事務の実現に取り組みます。</p> <p>① 【成果目標】 支出調書の審査時に、「調書訂正等連絡・確認書」により問題点を指摘し、誤り等を減らします。</p> <p>【取組】 会計事務を担う人材の育成に取り組みます。</p> <p>② 【成果目標】 会計事務の知識習得の機会を増やし、各所属の実務の状況を踏まえた指導を行います。</p>	<p>【取組実績】 会計事務の指標となる「財務会計事務の手引」を誰もが理解できるよう、具体的な解説を加えた内容に平成29年3月に改訂しました。また、会計事務に携わる職員を対象に改訂内容等を伝える研修会を実施し、会計事務の理解や処理の精度を高めることにより、適正な事務執行ができるよう周知徹底を図りました。</p> <p>① 併せて、支出命令書の審査時には、「調書訂正等連絡・確認書」による訂正指導等を実施しました。</p> <p>【成果目標実績】 「調書訂正等連絡・確認書」の発行率1.6%(前年比1.6%減)</p> <p>【取組実績】 実務担当者向けの研修会を8月と3月に実施しました。</p> <p>② 【成果目標実績】 それぞれの研修会に38名と60名の受講があり、指摘の多い事項等や事務改善にかかる留意事項の要点を解説しました。</p>
<p>2 日本銀行が平成28年2月16日に導入した、いわゆるマイナス金利政策の影響により、国債等の長期金利、借入金の目安となる長期プライムレート、また各種預金の金利などが下落しています。そのため、公金の確実かつ有利な方法による運用が難しくなっています。</p>	<p>② 低金利の状況下においても、確実かつできる限り有利な公金運用を図ります。</p>	<p>【取組】 資金の管理、収入・支出状況の的確な把握に努め、様々な情報収集を行い、公金の適正運用に努めます。</p> <p>③ 【成果目標】 日々、必要な資金の状況を的確に把握し、より多くの資金が利率の高い定期預金等で運用できるよう取り組みます。</p>	<p>【取組実績】 各所属からの収入・支出の執行予定の報告を受け、的確な収入・支出状況を把握し、公金の適正運用を行いました。</p> <p>③ 【成果目標実績】 必要な資金の状況把握を行い、低利率のなか、少しでも利率の高い定期預金等による運用を行いました。</p>